

第93号
平成21年
1月3日

すまいるたん



発行元
東京新聞
南千住専売所
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

共生と再生 マック・リブ作業所



「必要とされる人達には知られていません」

特定非営利活動法人「マック・リブ作業所」は、東京都と荒川区の助成を受けたアルコール依存症患者の為の通所デイケアセンターです。「マック・リブ作業所」の「リブ」とは生きるということ。ここはアルコール依存症患者に生きるために頑張る心を引き出してくれる場所です。平成6年に東日暮里でスタートし、11年前に現在の場所に移転して来ました。作業所という名前が付いていますが、作業は行っておりません。毎日³⁶⁵日午前・午後の2回マックプログラムに基づきミーティングを行っています。

とができなくなる病気です。本人の自覚は難しく多くは家族・友人の気づきで見られる病気です。アルコール依存症と診断された人は全国で80〜90万人居るといわれています。潜在人数はその数倍にもなります。

「理解すること、理解されることで希望が持てる」

ミーティングは、「今日一日飲まないこと」が基礎となり言いつばなし・聴きつばなしです。自分のことを話し、相手の話を聞くことでお互いを知り自分を知り自身を見つめ直す作業が生まれ、回復への希望につながります。

「生きるか、死ぬかは本人次第」

施設長含めスタッフ4名は、同じ苦しみを抱えた当事者でした。立ち直ったスタッフ達の存在は希望の光になります。お医者さんとは違う痛みを共有した当事者達の寄り添う心のスキンシップが、安心感となり柔らかく包み込みこむ心の薬となります。

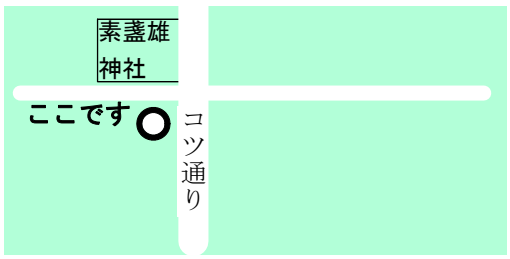
現在「マック・リブ作業所」には20〜70代で31名（女性6名）が通ってきています。昨年一年間で半月以上、通ってきた方は86名。その中で断酒して一年間経過できた人は8名で10〜15%です。一般的に病院を退院して断酒を継続されて来

られた方達に比べてみると驚異的な数字です。病院に3ヶ月入院して規則的な生活のリズムを立て直し、ここで3ヶ月（原則として）通所したあとは自助グループに患者さん達は移っていきます。

心が変われば、態度が変わる。態度が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば、運命が変わる。運命が変われば、人生が変わる。とヒンズー教の教えがあります。

心が変われば、人生が変わります。ここで社会性、人間性を取り戻し人生を変えた人達は多くあります。

マック・リブ作業所は、素盞雄神社の向いにある黄色の建物です。利用費は無料です。お気軽にご相談下さいませ。



特定非営利活動法人
マック・リブ作業所
荒川区南千住6-59-16
TEL&FAX 03 (3802) 1033

